

小嵐山・黒石温泉郷活性化協議会より

ワケモノの嵐

発行: 小嵐山・黒石温泉郷活性化協議会
× × ×

黒石山形地区周辺観光施設プロモーション事業室
黒石市役所富山72-1(津軽こけし館内)

<http://tsugishiyodensha.com/>

TEL: 0172-54-8181 FAX: 0172-54-8250

VOL. 3

平成22年秋号
9月発行

新幹線までアド80日

東北新幹線開通までアド80日切ってまたた。まんずハスジヤ。
やっぱし新幹線だ。

12月になると、時速275kmでバビュンと東京から青森まで!
乗って食って寝て起きれば真っ白な白銀の世界、ソゴは津軽!
新青森駅から時速60kmの温泉郷行きシャトルバス乗って来れば、
山あり湯あり灯籠あり、日本一のジャンボこけしありの小嵐山黒石温泉郷…
ホッコとしたドゴでお馬の娘ちゃんの馬車に乗る。時速パカパコパカパコ…
ゆった～～～～ドあずましくやっと津軽の雪景色楽しむコト出来る…
まるでタイムシリップした感覚。

東京サクマのつとよげで、いっぺ津軽がらもつと出ていった…
はるか海渡ったアメリカにさえもリトル東京と呼ばれる街がある…

いま、もうそんな都会は流行シね!!

今のオッタッタ時代には日本の古き良き時代、原風景を感じさせる
京都のような楽しの街が求められるはず!

みなさんそう思ひねが?

これが時代東京より京都の方が流行るドワアは思うよ。

…そんで忘れねんではいい、わんど住む街、その名は小嵐山!

小嵐山=リトル京都だ!!!!!!ワガるコレ?(笑)

津軽の街「小嵐山」でもナンが出来るはず!! サアもなぐくるよ新幹線! とつぱレ

貸切馬車宿泊プラン やってました…!!

現在、伝承館周辺をハックするお馬の娘ちゃん馬車。
実は8月より各旅館に宿泊中のお客様に黒石温泉郷の新たな目玉として貸切馬車プランを販売しています。
地元のつと運んでしまわねはんでシラネガツツ(笑)
今後は、ハロウィン馬車、クリスマスサンタ馬車など
地元のわらほんどのためにもドンドン企画してはんで
期待してね~★

バカボコバカボコ…メリークリスマス~!
マナブ悪いとにはきっとトナカイに見えるはず…!!

ルグレのめぐPIZZA

八甲田に行くケンドのログハウス
廻建物ル・グレ★マスターがジャン
ボこけし製作に協力してくれると
いう事もありイッテミダ。

いままでイギてガ、たんだばって、
イギねがった。おとゴー一人で行グの
なんか恥ずかしハンデ…!(笑)
ピザ極んで、パリボリカリカリ…
たまごタ…! メエ!! ホッパ
ユガサオドしてまた…!
皆さん行ってミダ! ういいよ!
マルゲリータにタマゲリータ!
ホントにめえハンデ!!

制作、取材、4コマ、記事作りすべて20代の

山田 拓郎
通称:たくろー
年齢:26歳
出身地:黒石市
特技:チンドン芸
(社長講り)

佐々木 牧惠
通称:マッキー
年齢:22歳
出身地:岩手県一関市
特技:馬車+プラスWEBを少し
馬車HP・こけしブログミデね~★

「ワケモノ!!」が作っています!!
Special Thanks!!
石澤 照代さん
高橋辰男さん
廣川佳代さん
かわ藤 憲せん
地元の小百姓たち
とにガゲ応援してけだつとありがとうございます!
小嵐山のミへのフヒも良がったらやってミデ~

イガメンチのご報告

伝承館で販売したワケモノの嵐プロでえース
イガメンチ定食…イガいに売れました!!
期間中約100食!! 北は北海道、南は大阪、
西は韓国、東は…何処だべ…?

とにガゲ応援してけだつとありがとうございます!
小嵐山のミへのフヒも良がったらやってミデ~

もみじクーン

全館豊敷きのヤド



ワケモノの嵐版 ここにちはコーナー

小嵐山のつと③

石澤照代さん(?)
「丹羽旅館の丹羽さんと
同じ被だったから? (笑)」
花桜の庄の美人女将
いつもニコニコわん達
ワケモノを見守ってくれ
てます!!

趣味:カラオケ
特技:スローフード作り
「これから昔語りをやって
(漁物・郷土料理) みたいとおもってます!!」

WEB版 ワケモノの嵐 製作中!!

実は…この新聞ミテ、ケヤグさなったワケモノ
います! 特技がインターネット! ってことで頼んで
ワケモノの嵐WEB版をコサエでもらっています!!
全国に向けて情報発信するため? ん…
たぶん…見でもあんまりわがんねピョン!
なしてって? だってあくまで津軽舟だはんで!
完成した時は都合のつと見てんだば、ケッパって
解説してけろじゃ! 全国の人が見やすくてねク。
津軽人が津軽の言葉で情報発信する
「WEBワケモノの嵐」! ご期待あれ!!!!

まさに馬車のごとく!! アナログ版③ 著:マッキー

「馬車のように」であるべきという話をしたが、忘れてはいけないのはその歩度だ。
ゆっくり行くも走っていくも最終的に目的地に着くことが目標。むしろ馬車の場合、ゆっくりと景色を
眺めながら進むことが樂しかったりする。何が言いたいかというと、「山形地区に馬車を走らせる」
という目標に「まさに馬車のごとく向かっていくべし! つまり「ゆっくりで良いから、楽しみながら、
みんなで力を合わせて一歩一歩確実に前に進みましょう」というメッセージであり、目標なのである。
決してこれは馬車だけの話ではない。山形地区の活動すべてにおいて「まさに馬車のごとく取り
組んでいきたい」と思っているし、みなさんに思っていただきたいのだ。次号へつづく

～編集後記～

みなさんこんちはもしくはお姫です。
この手書き新聞も第3弾を迎えました! パチ
パチパチ…! 広報してくれたらと感謝
します★さて記事にもありますがあなたWEB版
制作中です! せっかくなので全国のつとにも
この津軽弁新聞ミテも聞いてね~★
みなさんんとかこれが最もご好評よろしきね~★
へばす~★